
ASCET V6.0

インストールガイド

著作権について

本書のデータを ETAS GmbH からの通知なしに変更しないでください。ETAS GmbH は、本書に関してこれ以外の一切の責任を負いかねます。本書に記載されているソフトウェアは、お客様が一般ライセンス契約または単一ライセンスをお持ちの場合に限り使用できます。ご利用および複写はその契約で明記されている場合に限り、認められます。

本書のいかなる部分も、ETAS GmbH からの書面による許可を得ずに、複写、転載、伝送、検索システムに格納、あるいは他言語に翻訳することは禁じられています。

© **Copyright 2008** ETAS GmbH Stuttgart

本書で使用する製品名および名称は、各社の（登録）商標またはブランドです。
Document EC010010 R6.0.1 JP

目次

1	はじめに	5
1.1	本書について	5
1.1.1	本書の構成	5
1.1.2	本書の使用法	5
2	プログラムのインストール	9
2.1	準備	9
2.1.1	製品の内容	9
2.1.2	システム要件	9
2.1.3	インストールと運用に必要なユーザー特権	10
2.2	インストール	12
2.2.1	ASCET 基本システムのインストール	13
2.2.2	ASCET-MD およびその他の ASCET 製品のインストール	20
2.2.3	特殊な条件でのインストール	21
2.2.4	コマンドラインからのインストール	24
2.3	ネットワーク経由のインストール	26
2.3.1	ファイルの準備	26
2.3.2	ネットワークインсталレーションのカスタマイズ	27
2.3.3	ネットワークドライブからの ASCET のインストール	30

2.4	ASCET ディレクトリ.....	31
2.4.1	デフォルトのデータディレクトリ	31
2.4.2	デフォルトディレクトリの変更	32
2.5	ASCET のアンインストール.....	34
2.5.1	自動アンインストール	34
2.5.2	カスタムアンインストール.....	36
3	ライセンスについて.....	39
3.1	ライセンスの取得	39
3.2	ライセンスの借用	44
4	お問い合わせ先	45
	索引	47

1 はじめに

「ASCET 製品ファミリ」は、組み込みソフトウェアシステムのファンクション開発とソフトウェア開発のための革新的なソリューションを提供するものです。各 ASCET 製品は、新しい独自のアプローチによって、モデリング、コード生成、シミュレーション実験、といった開発工程の各段階を強力にサポートするので、品質向上や開発サイクルの短縮、さらにコスト低減を実現できます。

本書は、ASCET 製品のインストール方法、およびそれに関連する情報を説明するものです。製品の機能や操作方法などについての情報は、各製品のマニュアルやオンラインヘルプをご参照ください。

1.1 本書について

1.1.1 本書の構成

ASCET インストールガイドは、以下の章で構成されています。

- 「はじめに」(本章)
本書に関する一般的な説明です。
- 「プログラムのインストール」
この章は、PC またはネットワーク上に ASCET をインストールし、ASCET プログラムのメンテナンスやアンインストールを行うすべてのユーザー、および ASCET をファイルサーバーに供給してネットワーク経由のインストールを行うシステム管理者を対象としています。ここでは、製品の内容、スタンドアロンインストールとネットワークインストールに必要なハードウェアやソフトウェアの要件、インストールの準備作業、インストールとアンインストールの手順も紹介されています。
- 「ライセンスについて」
ASCET を使用するためのライセンスについての情報（ライセンスファイルの入手方法、ライセンスの借用方法など）が説明されています。
- 「お問い合わせ先」
ETAS の各支社の連絡先です。

1.1.2 本書の使用法

表現について

ユーザーが実行するすべてのアクションは、いわゆる“Use-Case”形式で記述されています。つまり以下に示すように、操作を行う目標がタイトルとして最初に簡潔に定義され（例：「新しいコンポーネントを作成する」、「エレメントの名前を変更する」）、その下に、その目標を実現するために必要な操作手順が列挙され、必要に応じて ASCET のウィンドウやダイアログボックスのスクリーンショットが添付されています。

目標の定義：

前置き ...

- 手順 1
手順 1 についての説明 ...
- 手順 2
手順 2 についての説明 ...
- 手順 3
手順 3 についての説明 ...

まとめ ...

具体例：

新しいファイルを作成する：

新しいファイルを作成する際は、他のファイルをすべて閉じておきます。

- **File → New** を選択します。
“Create file” ダイアログボックスが開きます。
- 新しいファイルの名前を、“File name” フィールドに入力します。
ファイル名は 8 文字以内でなければなりません。
- **OK** をクリックします。

新しいファイルが作成され、ユーザーが指定した名前で作成されます。このファイルを使用して以降の操作を行います。

表記上の規則

本書は以下の規則に従って表記されています。

表記例	説明
File → Exit を選択して、...	メニューコマンドは、 青の太字 で表記します。
OK をクリックして、...	ユーザーインターフェース上のボタン名は、 青の太字 で表記します。
<Ctrl> を押して、...	キーボードの各キーは、 <> で囲んで表記します。
“Open File” ダイアログボックスが開きます。	プログラムウィンドウ、ダイアログボックス、入力フィールド等のタイトルは、“ ” で囲んで表記します。

表記例	説明
setup.exe ファイルを選択します。	リストボックス、プログラムコード、ファイル名、パス名等のテキスト文字列は、Courier フォントで表記します。
論理型のデータから算術型のデータへの変換は できません 。	注意すべき箇所、または新出の用語は 太字 、あるいは「」で囲んで表記されます。
OSEK グループ (http://www.osek-vdx.org/ を参照してください) はさまざまな標準規格を策定しています。	インターネットへのリンクは、 青い下線 で表記されています。

特に重要な注意事項は、以下のように表記されています。

注記

ユーザー向けの重要な注意事項

また PDF 文書において、索引、および他の部分を参照する箇所（例：「xx を参照してください」の中の「xx」の部分）については、その参照先へのリンクが設けられているので、必要な参照箇所を素早く見つけることができます。

2 プログラムのインストール

この章は、PC またはネットワーク上に ASCET をインストールし、ASCET プログラムのメンテナンスやアンインストールを行うすべてのユーザー、および ASCET をファイルサーバに供給してネットワーク経由のインストールを行うシステム管理者を対象としています。ここでは、製品の内容、スタンドアロンインストールとネットワークインストールに必要なハードウェアやソフトウェアの条件、およびインストールに必要な準備について、重要な情報が記載されています。また、ASCET のインストールとアンインストールの手順も紹介しています。

2.1 準備

インストールを行う際は、まず製品の内容に不足がないこと、またお手持ちのコンピュータがシステム要件を満たしていることを確認してください。使用するオペレーティングシステムとネットワーク接続によっては、インストールを行うために必要なユーザー特権を持っていることを確認する必要があります。

2.1.1 製品の内容

ASCET は、以下のアイテムで構成されます。

- ASCET CD- ROM
 - ASCET のインストールプログラム
 - ASCET マニュアルおよび ETAS ハードウェアのドキュメント（PDF ファイル、開くためには Acrobat Reader が必要です）
 - エンドユーザー向け FLEXnet ライセンスユーザーズガイド（PDF ファイル）
 - Acrobat Reader のインストールプログラム

また、ASCET を使用するには、ライセンス契約に基づいて発行されたライセンスファイルが必要です。このファイルは、システム管理者の方から、または ETAS ホームページのセルフサービスポータルサイト（<http://www.etas.com/support/licensing>）から入手できます。ライセンスファイルのお申し込み時には、受注プロセスにおいて ETAS から発行された「アクティベーション番号」が必要です。

2.1.2 システム要件

ASCET を使用する PC は、以下の条件を満足している必要があります。

- 1GHz Pentium PC（2GHz 以上を推奨）
- Windows® 2000、Windows® XP、Windows® Vista
- 512MB RAM
- 空き容量が 1GB（プログラムデータ用サイズを含まず）以上のハードディスク
- CD ROM ドライブ

- VGA グラフィックカードと VGA モニタ、256 色、800 × 600 以上の解像度

2.1.3 インストールと運用に必要なユーザー特権

インストールに必要なユーザー特権：

ASCET を PC にインストールするには、管理者のユーザー特権が必要です。ない場合は、システム管理者の方にお問い合わせください。

運用に必要なユーザー特権：

ASCET を使用するユーザーは、管理者から“スケジューリング優先順位の繰り上げ”という特権を受ける必要があります。この特権は、ユーザーマネージャーを使用して設定します。

注記

下記の設定を行うためには、管理者権限が必要です。

推奨：一般的には、以下のようにして“スケジューリング優先順位の繰り上げ”特権をローカルの“Users”グループに設定してください。

Windows 2000 でユーザー特権“スケジューリング優先順位の繰り上げ”を割り当てる：

- Windows のスタートメニューから、**設定** → **コントロールパネル** → **管理ツール** → **ローカルセキュリティポリシー** を選択します。
- **ローカルポリシー** → **ユーザー権利の割り当て** に含まれる“スケジューリング優先順位の繰り上げ”をダブルクリックします。
- **追加** ボタンをクリックします。
- ローカルコンピュータを選択します。
- “Users”グループをダブルクリックして“スケジューリング優先順位の繰り上げ”を割り当てます。
- **OK** ボタンをクリックして確定します。
- **OK** ボタンで“ローカルセキュリティポリシーの設定”ダイアログボックスを閉じます。
- ローカルセキュリティ設定を終了します。

Windows XP でユーザー特権“スケジューリング優先順位の繰り上げ”を割り当てる：

- Windows のスタートメニューから、**設定** → **コントロールパネル** → **管理ツール** → **ローカルセキュリティポリシー** を選択します。

- ローカルポリシー → ユーザー権利の割り当てに含まれる“スケジューリング優先順位の繰り上げ”をダブルクリックします。
“スケジューリング優先順位の繰り上げ”ダイアログボックスが開きます。
- ユーザーまたはグループの追加 ボタンをクリックします。
“ユーザーまたはグループの選択”ダイアログボックスが開きます。
- 場所 ボタンをクリックします。
“場所”ダイアログボックスが開きます。
- ローカルコンピュータを選択し、**OK** をクリックして“場所”ダイアログボックスを閉じます。
- “ユーザーまたはグループの選択”ダイアログボックスで、**詳細設定** ボタンをクリックして、自動検索機能を有効にします。
- **今すぐ検索** ボタンをクリックして、ローカルコンピュータに登録されているユーザーのリストを表示します。
- “名前 (RDN)” のカラムから、スケジューリング優先度の繰り上げの権利を割り当てたいユーザーまたはグループを選択します。
- **OK** ボタンをクリックして確定します。
- **OK** ボタンで“ユーザーまたはグループの選択”ダイアログボックスを閉じます。
- **OK** ボタンで“スケジューリング優先順位の繰り上げ”ダイアログボックスを閉じます。
- ローカルセキュリティ設定を終了します。

Windows Vista でユーザー特権 “スケジューリング優先順位の繰り上げ” を割り当てる：

- Windows のスタートメニューから、**コントロールパネル** → **管理ツール** → **ローカルセキュリティポリシー** を選択します。
- ローカルポリシー → ユーザー権利の割り当てに含まれる“スケジューリング優先順位の繰り上げ”をダブルクリックします。
“スケジューリング優先順位の繰り上げ”ダイアログボックスが開きます。

- **ユーザーまたはグループの追加** ボタンをクリックします。
“ユーザー、コンピュータまたはグループの選択”ダイアログボックスが開きます。
- **場所** ボタンをクリックします。
“場所”ダイアログボックスが開きます。
- ローカルコンピュータを選択し、**OK** をクリックして“場所”ダイアログボックスを閉じます。
“ユーザー、コンピュータまたはグループの選択”ダイアログボックスの名前が“ユーザーまたはグループの選択”に変わります。
- “ユーザーまたはグループの選択”ダイアログボックスで、**詳細設定** ボタンをクリックして、自動検索機能を有効にします。
“ユーザーまたはグループの選択”ダイアログボックスが開きます。
- **今すぐ検索** ボタンをクリックして、ローカルコンピュータに登録されているユーザーのリストを表示します。
- “名前 (RDN)” のコラムから、スケジューリング優先度の繰り上げの権利を割り当てたいユーザーまたはグループを選択します。
- **OK** ボタンをクリックして確定します。
- **OK** ボタンで“ユーザーまたはグループの選択”ダイアログボックスを閉じます。
- **OK** ボタンで“スケジューリング優先順位の繰り上げ”ダイアログボックスを閉じます。
- ローカルセキュリティ設定を終了します。

2.2 インストール

いずれかのアドオン製品（ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SE、ASCET-SCM）をインストールする際は、まず最初に ASCET の基本システムをインストールする必要があります。また ASCET-SCM をインストールするには、先に ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SE のいずれかをインストールする必要があります。

インストールの方法は、CD から行う場合もネットワークドライブから行う場合も同様です。

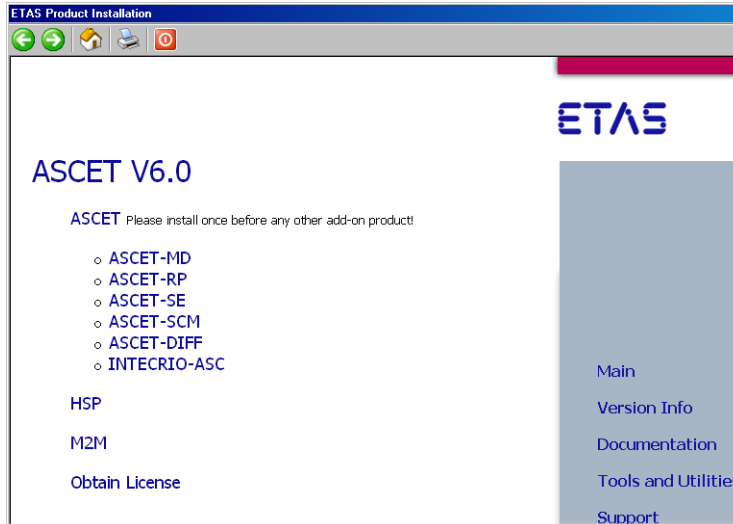
2.2.1 項で基本システムのインストール方法を詳しく説明します。アドオン製品のインストール方法は 2.2.2 項に簡単に説明されていますが、より詳しい情報が必要な場合は、各アドオン製品のマニュアルやリリースノートをご覧ください。

特殊なインストール条件（インストールのキャンセル、既存のプログラムバージョンへの上書き等）については、21 ページの 2.2.3 項に説明されています。またコマンドラインからインストールを実行する場合は 2.2.4 項の情報を参照してください。

2.2.1 ASCET 基本システムのインストール

ASCET のインストールを開始する：

- インストールディスクをPCのディスクドライブに挿入します。
- ディスクが自動的に起動しない場合は `start.exe` をダブルクリックします。
インタレーションダイアログボックスが開きます。
- [Main](#) というリンクをクリックします。



- [ASCET](#) というリンクをクリックします。

注記

ASCET-MD やその他の ASCET 製品（ASCET-DIFF 以外）をインストールするには、あらかじめ ASCET 基本システムをインストールしておく必要があります。

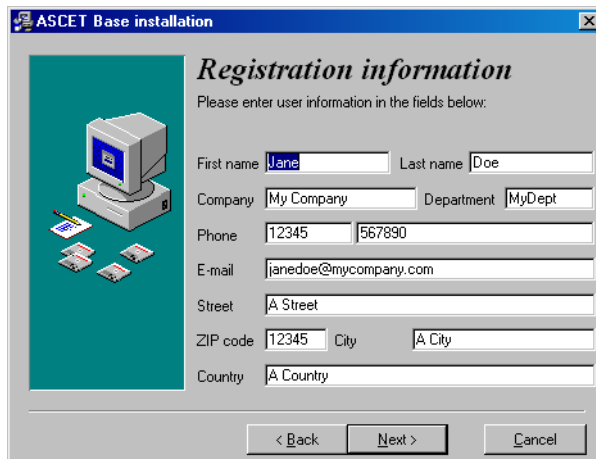
ASCET 基本システムのインストールが開始します。

ライセンス契約の内容を確認する：

- “EULA” というタイトルのダイアログボックスが開き、ライセンス契約の内容が表示されるので、内容に同意いただける場合は、**Accept** オプションをクリックしてオンにしてください。
- **OK** をクリックして確定します。
- 画面に表示される指示に従って先に進みます。
ダイアログボックス内に設定した内容を確定するには、**Next** ボタンをクリックして次のダイアログボックスに進みます。**Back** ボタンをクリックすると前のダイアログボックスに戻り、また **Cancel** をクリックするとインストールが中止されます。

ASCET を登録する：

- 以下のダイアログボックスに、ユーザーの個人情報を入力します。

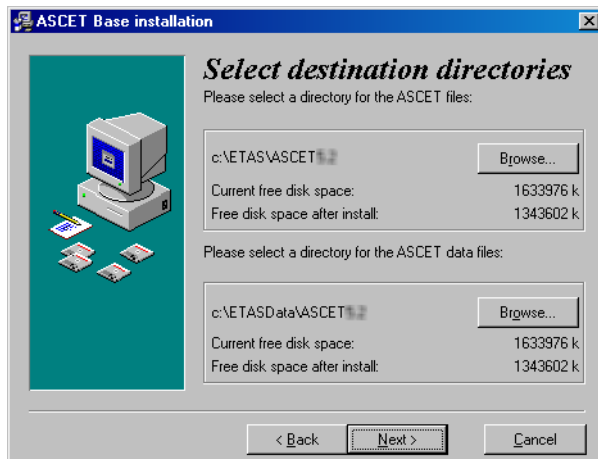


The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "ASCET Base installation" with a close button (X) in the top right corner. The dialog has a teal background on the left side featuring an illustration of a computer monitor, keyboard, mouse, and several floppy disks. The main area is white and titled "Registration information" in a bold, italicized font. Below the title, it says "Please enter user information in the fields below:". The form contains several input fields: "First name" with "Jane" entered, "Last name" with "Doe" entered, "Company" with "My Company", "Department" with "MyDept", "Phone" with "12345" and "567890" in separate boxes, "E-mail" with "janedoe@mycompany.com", "Street" with "A Street", "ZIP code" with "12345" and "City" with "A City", and "Country" with "A Country". At the bottom, there are three buttons: "< Back", "Next >", and "Cancel".

- **Next** ボタンをクリックします。

ASCET の登録が終わると、インストール先のターゲットディレクトリを指定するように要求されます。この指定は、次のダイアログボックスで行います。

ASCET のパスを指定する：



プログラムファイルとプログラムデータは別のディレクトリに格納されます。後でプログラムをアンインストールしたり更新すると、プログラムファイルだけが削除または上書きされます。プログラムデータはそのまま残り、継続して使用可能です。プログラムデータには以下のデータが含まれます。

- データベース
- ユーザープロファイル

注記

ASCET のインストールディレクトリのパスには、スペース文字を含めることができます。ただしその際は、ASCET と共に使用する外部ツールも空白文字を含むパス名をサポートしている必要がありますので、確認してからインストールを行ってください。

- デフォルトのディレクトリを変更したい場合には、**Browse** ボタンをクリックします。
- ダイアログボックスから、希望のディレクトリを選択します。

存在しないディレクトリを指定すると、インストーションルーチンがそのディレクトリを自動的に作成します。

- **Next** ボタンをクリックします。
“Select global directories” ダイアログボックスが開きます。ここでログファイルは一時ファイルの保存先を指定します。
- デフォルトのディレクトリを変更したい場合には、**Browse** ボタンをクリックします。
- **Next** ボタンをクリックします。

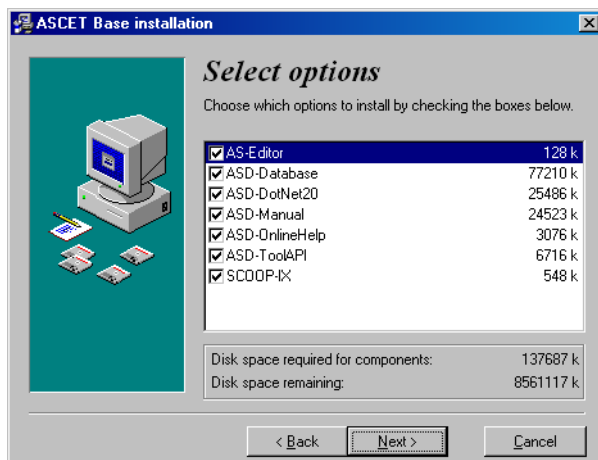
“Select Handling of ETAS Shared modules” ダイアログボックスでは、ETAS の全製品で使用する基本モジュールの共有に関する設定を行います。

共有ファイルの設定を行う：

- モジュールを他の製品と共有して使用するには、**share modules between products** オプションをオンにします。
複数の ETAS 製品を同時に使用する場合は、こちらの設定をお勧めします。
- モジュールのコピーをインストールしてASCET専用で使用するには、**use local copies for each product** オプションをオンにします。各コンポーネントを個別に調整する必要がある場合は、こちらの設定にしてください。
- デフォルトのディレクトリを変更したい場合には、**Browse** ボタンをクリックします。
- **Next** ボタンをクリックします。

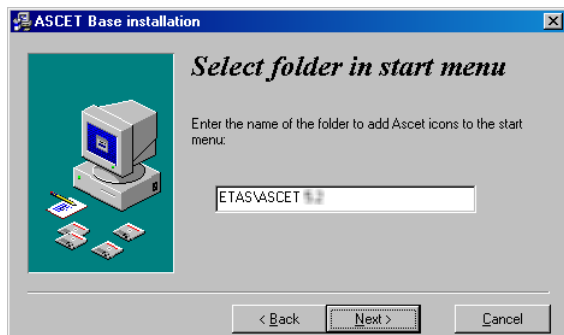
インストールする機能を指定する：

“Select options” ダイアログボックスで、ASCET の機能範囲を指定します。



- インストールしたいモジュールをチェックします。
以下のオプションを選択できます。
 - “AS-Editor” - 算術演算サービスエディタ
 - “ASD-Database” - ETAS システムライブラリとチュートリアルデータベースを、ASCET のインストールディレクトリにエクスポートします。
 - “ASD-Manual” - ASCET マニュアル (PDF) を ETAS¥ETASManuals ディレクトリにインストールします。
 - “ASD-OnlineHelp” - ASCET オンラインヘルプを ETAS¥ASCET5.2¥help ディレクトリにインストールします。
 - “ASD-ToolAPI” - ASCET の Automation インターフェースをインストールします。
- **Next** ボタンをクリックします。

スタートメニューに表示される ASCET フォルダ名を指定する：



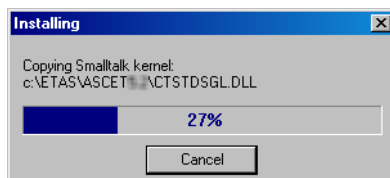
- デフォルトのフォルダ名を有効にします。
- または
- 別のフォルダ名を指定します。
- **Next** ボタンをクリックします。

ASCET をインストールする：

注記

次のステップで、実際のインストール処理が開始されます。

- “Ready to Install” ダイアログボックスで **Next** をクリックして、インストールを開始します。
プログラムファイルがコピーされます。コピーの進捗状況は、棒グラフによって表されます。



- 必要に応じて ETAS ライセンスマネージャがインストールされます。
最後に “Installation complete” というダイアログボックスが開きます。
- **Finish** をクリックします。
インストールが完了します。

PCが再起動されると、Windowsの**スタート**メニューの**ETAS**フォルダ内に、指定した名前のASCETフォルダが表示され、その中に以下のアイテムが表示されま
す。

- **ASCET Help**
ASCET オンラインヘルプを開きます。
- **ASCET Uninstall**
アンインストールルーチンを起動します（2.5 項を参照してください）。
- **ASCET V6.0**
ASCET プログラムを起動します。
- **AS Editor**
AS エディタを起動します（詳しくは ASCET オンラインヘルプをご参照く
ださい）。
- **ETAS Network settings**
ETAS ネットワークの設定を行うツールを起動します。
- **LicenseInfo**
“Obtain License Info” ダイアログボックスを開きます（第 3 章を参照し
てください）。
- **Online manuals**
オンラインマニュアルがインストールされている場合は、ここからマニ
ュアルディレクトリ ETAS¥ETASManuals を開くことができます。各マ
ニュアルはこのディレクトリ下のサブディレクトリに保存されています。
- **PC RemoteControl**
リモートインターフェースの設定を有効にします。
- **ReadMe**
ASCET V6.0 についての最新情報が収められているファイルを開きます。

ETAS ライセンスマネージャについては、Windows の**スタート**メニューの**ETAS**
フォルダ内に **License Management** という独立したフォルダが作成されます。
ASCET のインストールディレクトリの下での export ディレクトリ内には 3 つの
サンプルファイル（*.exp または *.amd）がコピーされていて、これらのファ
イルを ASCET データベースにインポートすることができます。

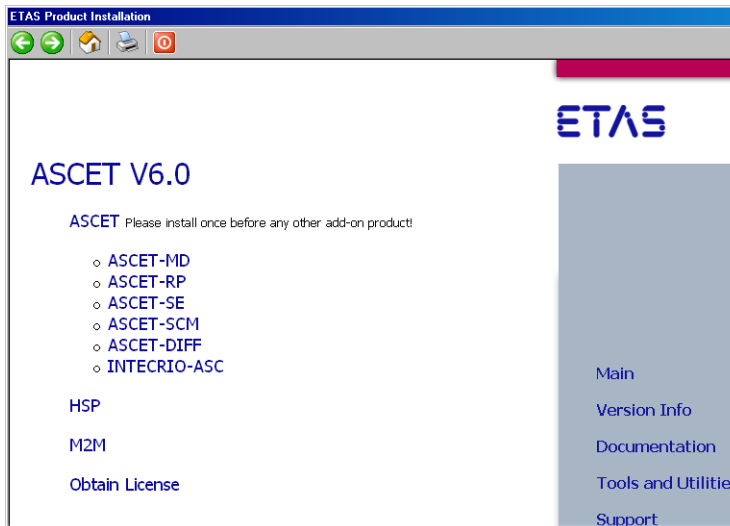
- SystemLibETAS.* および ETASSystemLibCT.* - ETAS システム
ライブラリ（PT1 エlementなどの基本モデリングブロックやその他の基
本フィルタElement、積分器などが含まれます）
- Tutorial.* - ETAS チュートリアル

2.2.2 ASCET-MD およびその他の ASCET 製品のインストール

基本システムをインストールした後は、ASCET-MD やその他のアドオン製品をインストールすることができます。

ASCET アドオン製品をインストールする：

- 再度インタレーションダイアログボックスを開き、[Main](#) リンクをクリックします。



- [ASCET-MD](#) (またはその他の ASCET 製品) のリンクをクリックします。

注記

ASCET-MD やその他の ASCET 製品 (ASCET-DIFF 以外) をインストールするには、あらかじめ ASCET 基本システムをインストールしておく必要があります。

また、ASCET-SCM を使用するには、あらかじめ ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SE のいずれかがインストールされている必要があります。

- 画面の指示に従ってインストールを行います。
選択された製品がインストールされます。

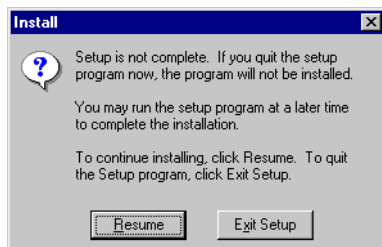
2.2.3 特殊な条件でのインストール

インストールの中止

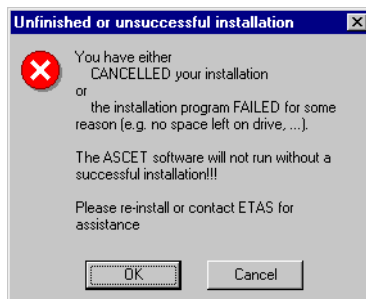
インストールの途中でインストールを中止するには、以下のように操作してください。

インストールを中止する：

- 操作中のダイアログボックスで、**Cancel** ボタンをクリックします。



- 元のダイアログに戻るには、**Resume** をクリックします。
- セットアッププログラムを終了してインストールを中止するには、**Exit Setup** ボタンをクリックします。



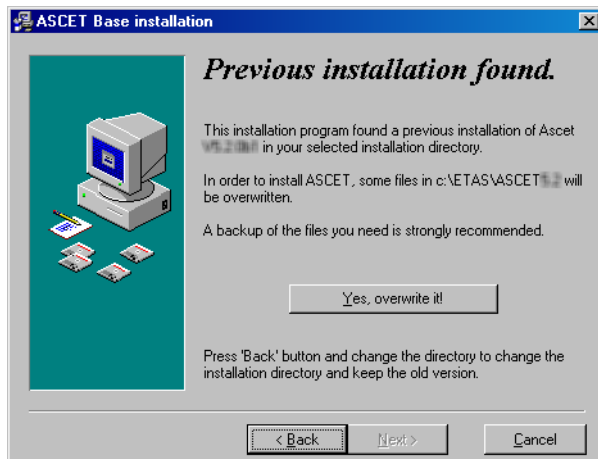
- **OK** をクリックすると、インストールが中止されます。

旧バージョンに「上書きインストール」を行う

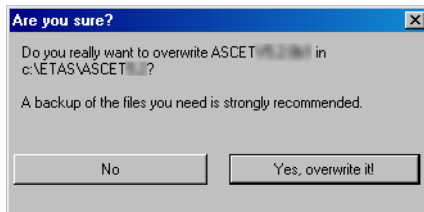
インストールしようとするソフトウェアの旧バージョンがすでにインストールされている場合、または指定されたディレクトリに別のソフトウェアがすでにインストールされている場合、その旨を通知するメッセージが表示されます。このよ

うな状況は、たとえばバージョン 6.0.0 がインストールされている PC にバージョン 6.0.1. をインストールしようとした場合に発生します。その場合は以下のように操作してください。

既存のプログラムバージョンに上書きしてインストールする：



- 表示されたメッセージをよく読んでください。
この例では、指定のディレクトリに旧バージョンがすでにインストールされていることが示されています。以降の処理を続行すると、これらのファイルは上書きされます。
- 他のディレクトリにインストールするには、**Back** ボタンをクリックします。
- 既存のファイルに上書きしてよければ、**Yes, overwrite it** ボタンをクリックします。

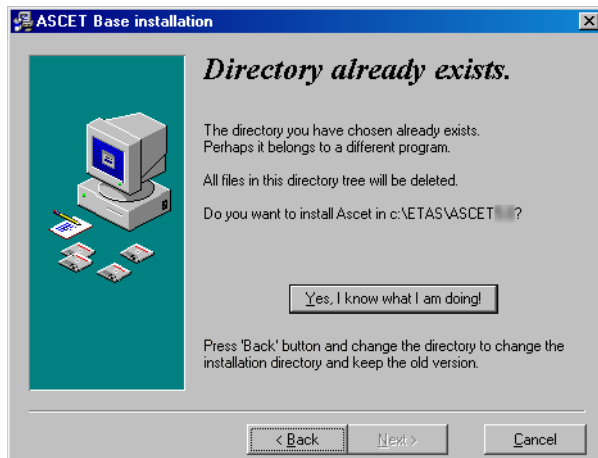


- 上記の確認メッセージが表示されるので、**Yes, overwrite it!** をクリックして確定します。
上書きせずに元のダイアログボックスに戻るには **No** をクリックします。

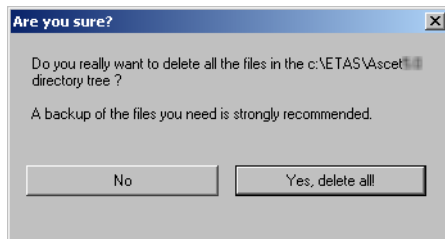
既存のディレクトリに「上書きインストール」を行う

指定されたディレクトリがすでに存在していて、そこに ASCET が完全にインストールされていない場合、その旨を通知するメッセージが表示されます。このような状況は、前回のインストール処理が途中でキャンセルされた場合などに発生します。その場合は以下のように操作してください。

既存のディレクトリに上書きする：



- 表示されたメッセージをよく読んでください。この例では、指定されたディレクトリがすでに存在していることを示しています。
- 他のディレクトリにインストールするには、**Back** ボタンをクリックします。
- 既存のディレクトリに上書きしてよければ、**Yes, delete it** ボタンをクリックします。



- 確認メッセージが表示されるので、**Yes, delete all!** をクリックして確定します。

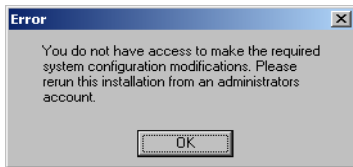
ASCET がインストールされて、既存のファイルはすべて削除されます。

上書きを行わずに前のダイアログボックスに戻るには **No** をクリックします。

管理者権限がない場合

Windows にログオンした時のユーザー名に管理者権限が与えられていない場合、以下のメッセージボックスが開きます。ASCET のインストールを行うには管理者権限が必要であるため、メッセージを確認した後は、インストール処理は中断されます。

管理者権限なしでインストールを実行しようとした場合：



- メッセージを確認して **OK** をクリックします。インストールは中断されます。
- システム管理者の方に問い合わせてください。
- 必要な権限を取得した後、再度インストールを行ってください。

2.2.4 コマンドラインからのインストール

インストールをコマンドラインから実行する場合は、引数を使用してインストール処理をカスタマイズすることができます。

/silent または **/s**

「サイレントモード」でインストールを行います。このモードにおいてはユーザーの介入を必要とするダイアログボックスが開きません。通常のインストールにおいてダイアログボックスで入力される情報の代わりに、デフォルト値、または `install.ini` から読み込まれた値が使用されます。エラーメッセージも表示されません。

サイレントインストールの処理は、バックグラウンドプロセスによって実行されます。インストール中は Windows のシステムトレイにアイコンが表示されますが、ユーザーがこのプロセスに介入することはできません。

インストールディレクトリ内の `silent.log` というファイルにインストールログが記録されます。このファイルは `*.ini` と同じ形式で、サイレントモードでインストールされた各 ASCET 製品ごとにセクションが作成されます。インストール実行中は、その製品のセクションに以下の行が記録されます。

```
install=in progress
```

インストールが正常に終了すると、その行は以下のように書き変わります。

```
install=successfully finished
```

インストール後に PC の再起動が必要な場合は、`install.ini` 内に所定のエントリ¹で指定されていない限り自動的に再起動が行われます。以下の行が所定のセクションに追加されます。

```
need reboot=yes
```

注記

`/silent` は、コマンドラインの最初の引数として使用してください。他の引数が先に指定されると、`/silent` は無効となります。

/basic

「ベーシックモード」でのインストールを行います。このモードにおいては、ライセンス契約についての情報が表示される“EULA”というタイトルのダイアログボックスを除き、ユーザーの介入を必要とするダイアログ

¹. [SilentInstallation]
;prevents a silent installation from rebooting when
;set to "Suppress"
Restart=Suppress

ボックスが開きません。サイレントモードと同様のインストールが行われますが、ベーシックモードにおいては進捗バーとエラーメッセージが表示され、ログファイルは生成されません。

注記

ASCET 製品の中には、install.ini 内に環境変数を定義できたりサイレント/ベーシックモードを制御するための設定を定義しておく必要があるものがあります。詳しくは各製品のドキュメントを参照してください。

/ini="<MyPath>\<IniFileName>.ini"

デフォルト状態において、インストール時にはインストールディレクトリに保存されている install.ini ファイルが使用されます。しかし、1つのネットワークドライブから複数のユーザーが ASCET 製品をインストールするには、使用環境に応じて異なる *.ini ファイルが必要となる場合があります。そのような場合は、以下のようにしてファイルのパスを指定します。

インストールディレクトリ外にある *.ini ファイルを使用する場合：
/ini="<MyPath>¥<IniFileName>.ini"

インストールディレクトリ内にある *.ini ファイルを使用する場合：
/ini="¥<IniFileName>.ini"

/? または /h

使用できるコマンドライン引数の一覧が表示されます。

2.3 ネットワーク経由のインストール

CD からだけでなく、PC 上のネットワークドライブからも ASCET をインストールできます。

ネットワークインストールには、PC に実際にインストールする前にあらかじめインストールオプションを設定しておくことができるという利点があります (2.3.2 を参照してください)。

2.3.1 ファイルの準備

ネットワークドライブからインストールを可能にするため、まずインストールに必要なファイルを CD からネットワークドライブ上にコピーしておく必要があります。

ファイルをネットワークサーバにコピーする：

- 任意のネットワークドライブ上にソースディレクトリを作成します。
- CD の全データをソースディレクトリにコピーします。

インストールレーションログ

ユーザーがネットワークインストールを行った履歴は、ネットワーク上のログファイルに記録されます。したがって、すべてのユーザーに、x:\¥user ディレクトリ、または install.ini に指定されたディレクトリに対する書き込みアクセス権が必要です。

2.3.2 ネットワークインストールレーションのカスタマイズ

ユーザーが自分のワークステーションに ASCET をインストールする前に、ASCET のデフォルトのインストールオプションをカスタマイズしておくことができます。

ネットワークインストールレーションの場合、以下のことが可能となります。

- ディレクトリなどのデフォルト設定を変更しておくことにより、インストールレーションダイアログをカスタマイズできます。
- ASCET のインストールを、ユーザーの介入なしにバックグラウンドで完全に自動実行できます。
- カスタマイズしたファイルで製品のデータディレクトリ（デフォルト設定は [drive]:¥ETASdata¥ASCET6.0¥...) 内のファイルを上書きしたり、既存のディレクトリにファイルが追加されるように指定できます。

インストールレーションダイアログのカスタマイズ

大規模な部署内で多くのユーザーがネットワークインストールレーションを行うような場合、インストールに使用されるオプション情報のデフォルト設定をあらかじめカスタマイズしておいて、各 PC に同じ条件でインストールが行われるようにする必要が生じる場合があります。このようなカスタマイズは、install.ini コンフィギュレーションファイルを使えば可能です。このファイルは、インストールレーションディレクトリに格納されています。

以下の例に従って、デフォルト設定を変更してください。

コンフィギュレーションファイルをカスタマイズする：

- install.ini ファイルをテキストエディタで開きます。

以下は、この INI ファイルのデータの一例です。

```
;Sets the main directory of ASCET
;MainDir=c:\¥etas¥ASCET6.0
```

- デフォルト設定を修正するには、MainDir キーワードの行の “;”（コメントを示す）を削除します。

- パスを、たとえば
H:¥programs¥etas¥ASCET6.0 というよう
に変更します。

ファイルの内容は、以下のようになります。

```
;Sets the main directory of ASCET  
MainDir=H:¥programs¥etas¥ASCET6.0
```

- `install.ini` の他の部分も、同じ方法で適宜変更します。
- 変更内容を保存してから、エディタを閉じます。

これで、ASCET.exe を実行してインストールを開始すると、ダイアログボックスには新しい設定がデフォルトオプションとして表示されるようになります。

注記

パス設定の変更により、以下のようなカスタムインストールが可能です。

自動インストール

ASCET.exe ¥s というコマンドを実行すると、ASCET のインストールがバックグラウンドで完全に自動実行されます。ユーザーの介入は一切必要なく、その時点で有効なデフォルト設定が自動的に選択されます。install.ini ファイル内の各デフォルト設定は任意に変更できます（27 ページの「インストーションダイアログのカスタマイズ」を参照してください）。

システム管理者が“ASCET.exe ¥s” コマンドを含むバッチファイルを作成し、install.ini 内の必要な設定を行えば、ユーザーはこのバッチファイルを実行するだけで、一切の入力作業なしにインストール作業を実行できるようになります。

なおこのインストール方法においてはダイアログボックスはまったく表示されないため、インストールが完了した時点でユーザーに通知を行うメカニズムを用意しておくといでしょう。

ASCET ファイルのカスタマイズ

以下に説明するようなカスタマイズ機能を利用してインストールプログラムを調整し、インストール実行時にカスタマイズされたファイルをデフォルトファイルに上書きしたり、他のファイルをインストーションセットに含めたりすることができます。

この機能によって、カスタマイズされたデータベース、ユーザープロファイル、およびダイアログボックステンプレートをインストールされるプログラムに統合することが可能となります。

このしくみは比較的単純です。インストーションディレクトリ下に InstData¥... というサブディレクトリを作成し、正しいディレクトリ構造を維持しながら、カスタムファイルをそこにコピーします。

カスタムファイルを作成するには、まず ASCET をテスト用 PC にインストールし、これを用いてファイルを作成します。

ASCET のデフォルトインストールを行うと、ETASData¥ASCET6.0¥... ディレクトリに以下のようなサブディレクトリが作成されます。そこには ASCET のデフォルト設定を定義するファイルがあり、それらをカスタマイズすることが可能です。

- Database¥DB¥
db サブディレクトリには、デフォルトのデータベースが格納されています。ここに、たとえば Database¥DemoDB¥ という別のデモ用データベースを作成できます。
- User¥[user name] - Windows のログインユーザー名により異なる [user name] サブディレクトリには、デフォルトのユーザープロファイルが格納されます。設定可能なオプションはすべて、このサブディレクトリに保存されます。

ネットワークインストール用のデータをカスタマイズする：

- ASCET を PC にインストールします。
- ASCET を起動します。
- ユーザープロファイルを修正します。
- データベースを修正するか、新しいデータベースを追加します。
- ASCET を終了します。

ここまででカスタマイズは終了したので、これらのファイルをインストールプログラムに統合します。次の 2 通りの方法があります。

- 同じ名前の既存のファイルにカスタムファイルを上書きします。これを行うためには、InstData¥overwrite¥ というフォルダをインストールディレクトリに作成しておく必要があります。
- カスタムファイルの名前を変更して、それらを既存のファイルに追加します。同じ名前のファイルは上書きされません。これを行うためには、InstData¥add-only¥ というフォルダをインストールディレクトリに作成しておく必要があります。

カスタムファイルをインストールプログラムに含める場合、必ずその親ディレクトリもコピーしてください。ETASData¥ASCET6.0¥ ディレクトリのレベルは、InstData¥overwrite¥ や InstData¥add-only¥ と同じでなければなりません。

例：

```
InstData¥overwrite¥user¥userDef.ini  
InstData¥add-only¥database¥additionalDB¥
```

修正済みのユーザープロファイルを統合する：

- カスタマイズした
ETASData¥ASCET6.0¥user¥[user
name]¥ascetsd.ini ファイルを
InstData¥overwrite¥user¥ サブディレク
トリにコピーします。
- ascetsd.ini ファイルの名前を
userDef.ini に変更します。
これで、インストール後は、新規のユーザー用と
してこの初期化ファイルが使用されるようになります。

修正を加えたデータベースを統合する：

- カスタマイズしたデータベース、つまり
¥database¥DB¥ サブディレクトリを
InstData¥add-only¥... サブディレクトリ
にコピーします。
- DB ディレクトリの名前を任意に変更します。変更
しないとデータベースはコピーされません。
もちろん、InstData¥overwrite¥ ディレク
トリを用いて DB データベースを上書きすること
もできます。

ASCET.exe でインストールルーチンを起動すると、デフォルトファイルはカスタムファイルで書き換えられ、対応するディレクトリに新しいファイルが追加されます。

2.3.3 ネットワークドライブからの ASCET のインストール

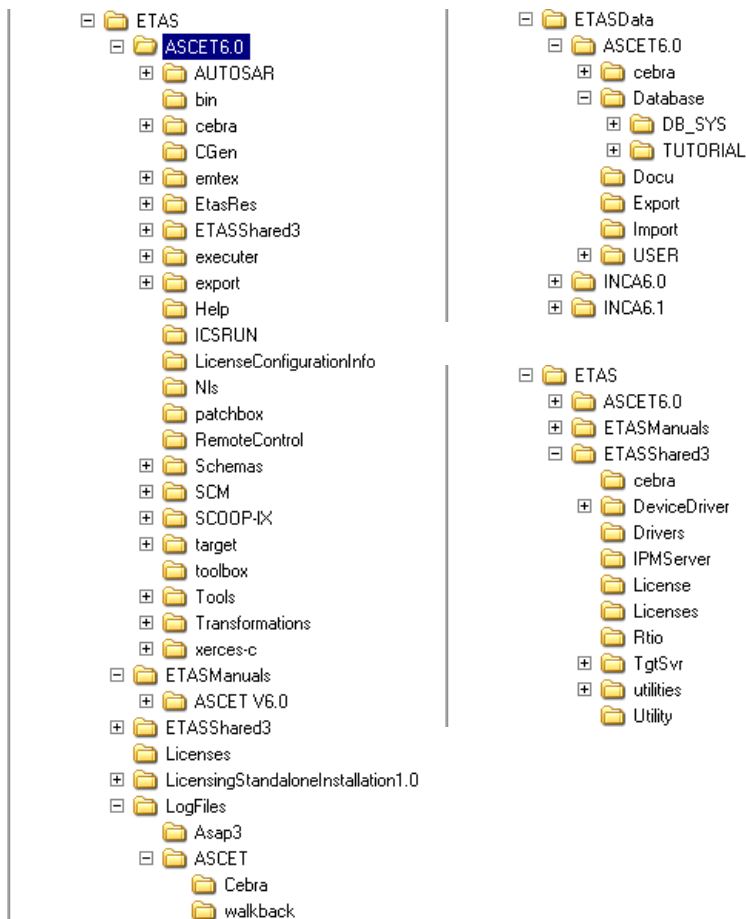
ネットワークドライブからのインストールは、CD-ROM から行う場合と同じ手順でインストールできます。ネットワークドライブ上のどのディレクトリにインストールプログラムが格納されているかを確認してから、12 ページの「インストール」の項を参照してインストールしてください。

注記

ネットワークドライブから ASCET をインストールするには、ネットワークドライブのログディレクトリへの書き込みアクセス権が必要です (2.3.1 を参照してください)。

2.4 ASCET ディレクトリ

ASCET をインストールすると、インストール先のディスクに以下のディレクトリ構造が生成されます（インストール時に別のパスを指定することもできます）。



2.4.1 デフォルトのデータディレクトリ

- データベース
ETASData¥ASCET6.0¥Database
- エクスポート
ETASData¥ASCET6.0¥Export

- インポート
ETASData¥ASCET6.0¥Export
- 生成されるコード
ETAS¥ASCET6.0¥CGen
- 自動生成されるドキュメント
ETASData¥ASCET6.0¥Docu

2.4.2 デフォルトディレクトリの変更

ASCETの“Options”ダイアログボックスで、データディレクトリのデフォルト設定を変更することができます。以下のように操作してください。

データディレクトリのデフォルト設定を変更する：

- ASCETのコンポーネントマネージャからメニューコマンド **Tools** → **Options** を選択します。

“Options”ダイアログボックスが開きます。各データディレクトリのデフォルト設定は、以下のノードで行います。

データベース：“Options”

エクスポート：“Integration” / “Export”

インポート：“Integration” / “Impot”

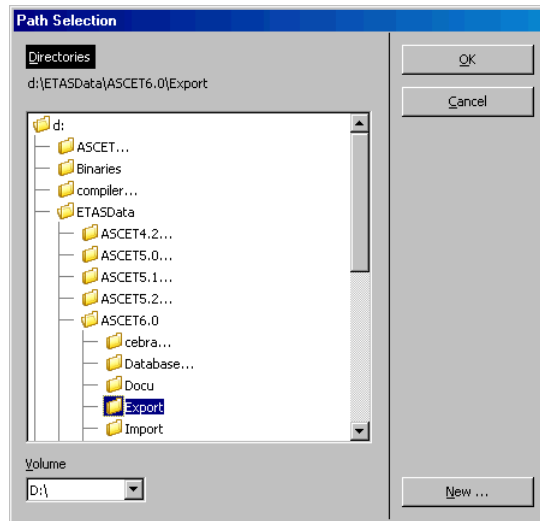
コード生成：“Build”

ドキュメント：“Documentation”



- 変更したいパスの右側のボタンをクリックします。

“Path selection” ダイアログボックスが開きます。



- デフォルトディレクトリとして使用したいディレクトリを指定します。
- **OK** をクリックします。
指定されたディレクトリが “Options” ダイアログボックスに表示されます。
- 変更したいすべてのオプションについて、以上の手順を繰り返します。
- 設定が終了後、**OK** をクリックすると設定内容が確定され、**Cancel** をクリックすると取り消されます。

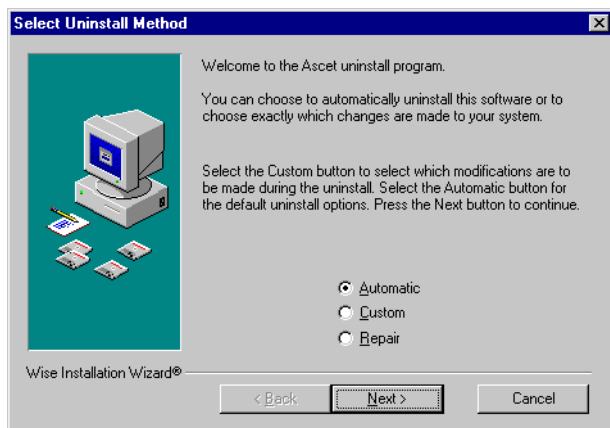
2.5 ASCET のアンインストール

ASCET をアンインストールすると、インストールされている ASCET 製品すべてが自動的にアンインストールされます。各 ASCET ファミリ製品（ASCET-MD、ASCET-SE、ASCET-RP）やアドオン製品を個別にアンインストールすることはできません。

2.5.1 自動アンインストール

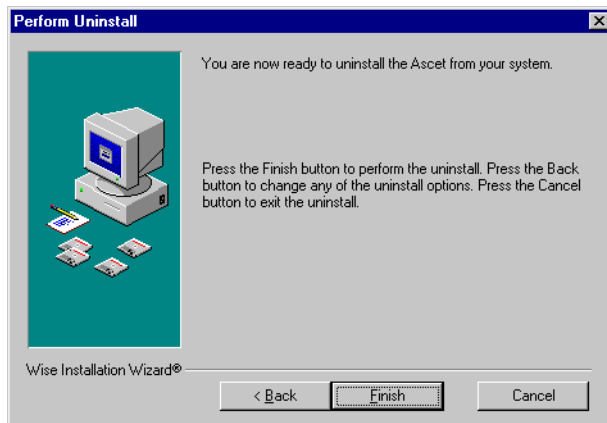
ASCET を自動アンインストールする：

- スタートメニューのプログラムグループから、**ASCET Uninstall** を選択します。
以下のダイアログボックスが開きます。

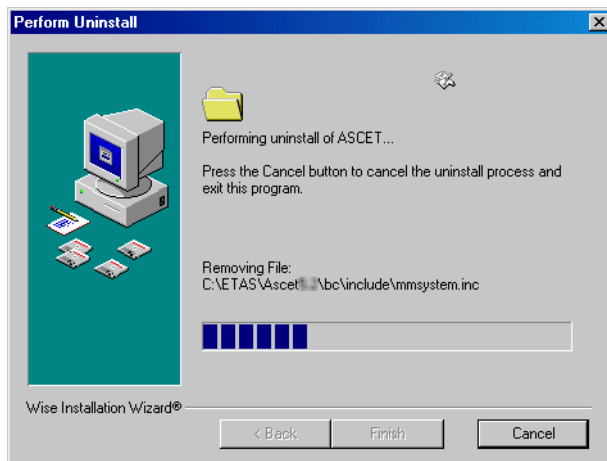


- **Automatic** を選択します。

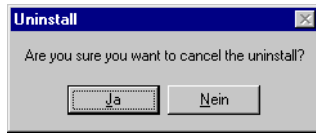
- **Next** ボタンをクリックします。



- アンインストールを実行するには **Finish** ボタンをクリックします。



アンインストール実行中にアンインストール処理を中止することもできます。
Cancel ボタンをクリックすると、以下のダイアログボックスが開きます。



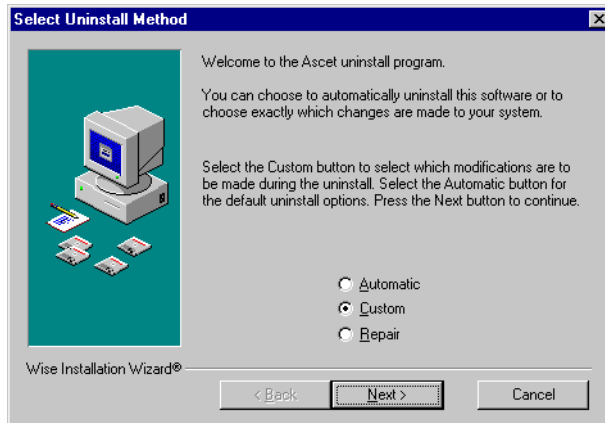
注記

キャンセルした時点でデータがすでに消去されていた場合は、ASCET を再インストールする必要があります。

2.5.2 カスタムアンインストール

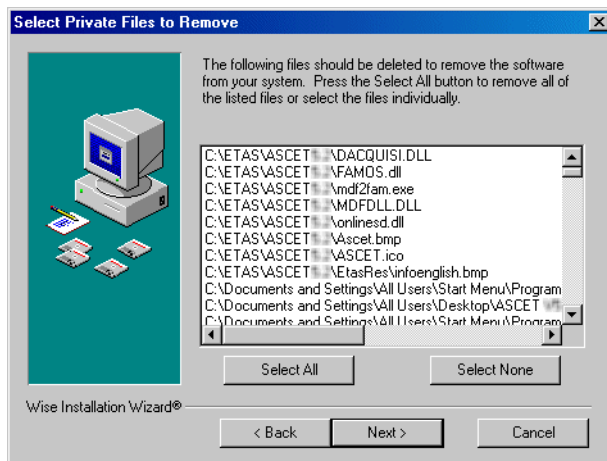
ASCET をマニュアル操作でアンインストールする：

- スタートメニューのプログラムグループから、**ASCET Uninstall** を選択します。
以下のダイアログボックスが開きます。



- **Custom** を選択します。

- **Next** ボタンをクリックします。
“Select Private Files to Remove” ダイアログボックスが開きます。



- “Select Private Files to Remove” ダイアログボックスで、削除したいファイルを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Directories to Remove” ダイアログボックスで、削除したいディレクトリを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select INI Files to Remove” ダイアログボックスで、削除したい *.ini ファイルを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select INI Items to Edit” ダイアログボックスで、編集したい *.ini エントリを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Registry Keys to Remove” ダイアログボックスで、削除したいレジストリキーを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Registry Trees to Remove” ダイアログボックスで、削除したいレジストリフォルダを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。

- “Select Registry Keys to Edit” ダイアログボックスで、編集したいレジストリキーを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Select Sub-Systems to Remove” ダイアログボックスで、削除したいサブシステムを選択します。
- **Next** ボタンをクリックします。
- “Perform Uninstall” ダイアログボックスで、**Finish** ボタンをクリックします。
アンインストールが実行されます。

カスタムアンインストール実行中でも、自動アンインストールの場合と同様に **Cancel** ボタンでアンインストールを中止することができます。

注記

キャンセルした時点でデータがすでに消去されていた場合は、ASCET を再インストールする必要があります。

3 ライセンスについて

ASCET 製品ファミリに含まれるすべての ASCET 製品とそのアドオン製品は、ライセンス管理の対象となります。製品をインストールした後に ASCET を使用するには、ご使用の PC 専用のライセンスファイルを ETAS から入手し、それを PC にインストールする必要があります。このファイルがない場合、ASCET をインストールすることはできますが、実際に使用することはできません。

3.1 ライセンスの取得

ASCET を使用するために必要なライセンスファイルは、システム管理者の方から、または ETAS ホームページのセルフサービスポータルサイト（URL はライセンス契約に関する ETAS からのレターに記載されています）から入手してください。ライセンスファイルを ETAS にお申し込みいただく際には、受注プロセスにおいて ETAS から発行された「アクティベーション番号」が必要です。

ライセンスは、特定のユーザー名または PC に対して割り当てられます。まずはライセンスファイルを取得するために必要な情報を、ETAS ライセンスマネージャを使用して以下のように取得し、ETAS にお送りください。

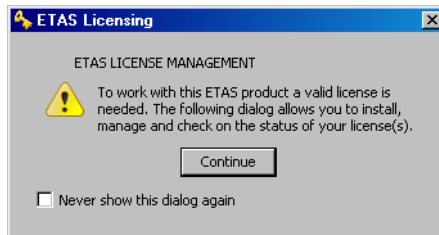
ライセンスファイルを取得する：

- Windows のスタートメニューから、**プログラム → ETAS → License Management → ETAS License Manger** を選択します。

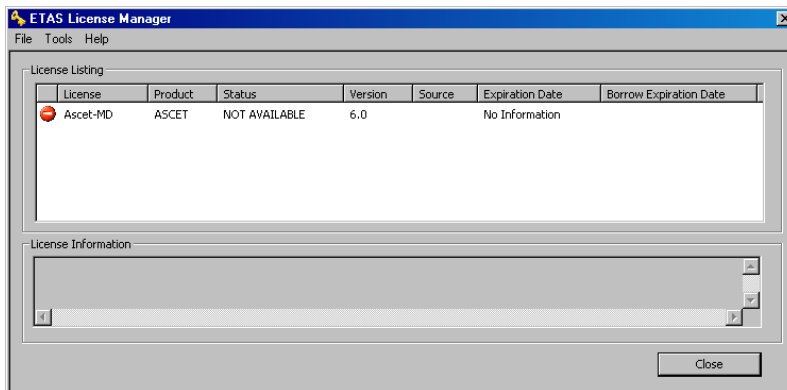
または

- ASCET のコンポーネントマネージャから **Help → License Info** を選択します。

ライセンスマネージャが起動して、“ETAS Licensing” というタイトルのダイアログボックスが開きます。

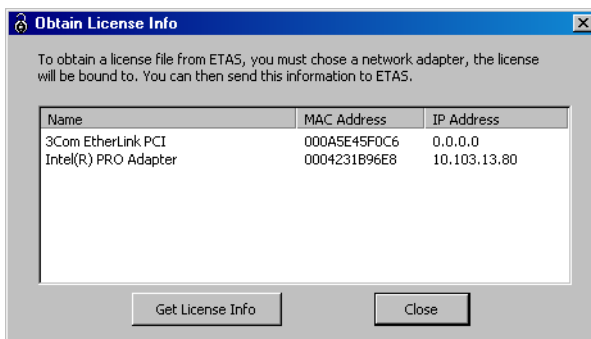


- **Continue** をクリックします。
ETAS ライセンスマネージャが開きます。



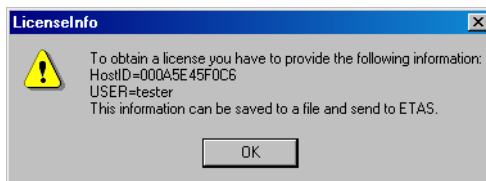
ETAS ライセンスマネージャには、インストール済みの各 ASCET 製品のエントリが表示され、ETAS の他の製品用のライセンスがインストールされている場合はこれらのエントリも表示されます。各エントリ行の先頭の列と“Status”列には、有効なライセンスがすでにインストールされているかどうかが表示されます。

- **Tools → Obtain License Info** を選択します。
“Obtain License Info” ダイアログボックスが開きます。PC に組み込まれている各ネットワークアダプタ（ネットワークカード）のホスト ID（MAC アドレス）と IP アドレスが表示されます。



- リストアップされているネットワークアダプタのいずれかを選択し、**Get License Info** をクリックします。

その PC 用のライセンスファイルを作成するために必要な情報が収集され、“License Info” ダイアログボックスに表示されます。



- **OK** をクリックして、表示された情報を所定のテキストファイルに保存します。
- ファイル選択ダイアログボックスで、テキストファイルのパスとファイル名を設定します。
- **Save** をクリックします。

ファイルが作成され、テキストエディタで自動的にそのファイルが開きます。このファイルには、ユーザー名とホスト ID のほか、ユーザーの E メールアドレス、ライセンス番号、その他の情報を入力する行と、ファイルの送信先アドレスが含まれています。

- ライセンス契約書に記載されたライセンス番号を入力し、必要に応じてその他の情報を入力し、最後にそのファイルを保存してください。
- “Obtain License Info” ダイアログボックスを閉じます。

- 完成したテキストファイルを E メールに添付して ETAS に送信します。

ASCET の場合、各 ASCET 製品（ASCET-MD、ASCET-MIP など）ごとにファイルを作成してお送りいただく必要があります。

ETAS から、ユーザー ID とホスト ID に対応するライセンスキーが格納されたライセンスファイルをお送りします。

注記

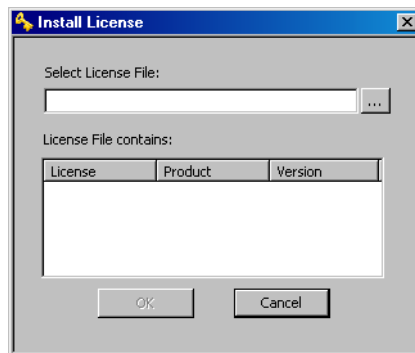
ETAS から送られてきたライセンスファイルは編集しないでください。編集されたライセンスファイルは無効になってしまいます。

取得したライセンスファイルは、以下のようにして PC にインストールします。

ライセンスファイルをインストールする：

- ETAS ライセンスマネージャを開きます（39 ページ参照）。
- ETAS ライセンスマネージャで **File → Add Licensing File** を選択します。

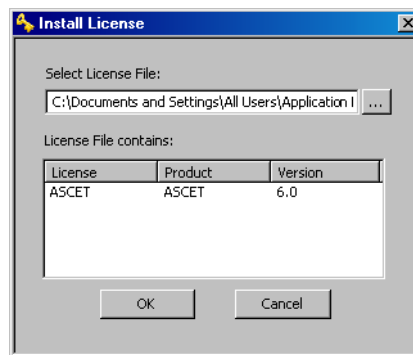
“Install License” ダイアログボックスが開きます。



- “Select License File” フィールドの右側にある ... ボタンをクリックします。

- ファイル選択ダイアログボックスで、ASCET V6.0用のライセンスファイルを選択して **Open** をクリックします。

“Install License” ダイアログボックスに、選択されたライセンスファイルの情報が表示されます。



注記

上記ダイアログボックスの“Version”列に表示される番号は、ライセンスのバージョン番号で、ソフトウェアのバージョン番号とは異なります。

- **OK** をクリックしてライセンスファイルをインストールします。

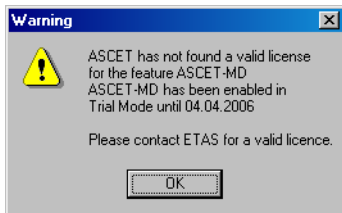
ETAS ライセンスマネージャに、上記の操作で選択されたライセンスの情報が表示されます。エントリの先頭部分に表示された緑のチェックマークシンボルが、ライセンスが有効であることを示します。

注記

上記の操作を行っても緑のシンボルが表示されない場合、ライセンスファイル、または他の製品に関連するライセンスに何らかの問題がある可能性があります。ETAS ライセンスマネージャについての詳しい情報は、ETAS ライセンスマネージャのオンラインヘルプを参照してください。

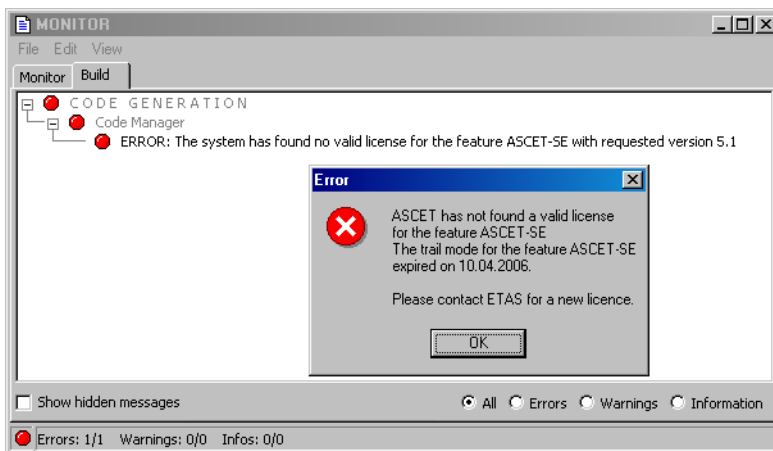
- **Close** をクリックしてETASライセンスマネージャを閉じます。

指定されたディレクトリ内に有効なライセンスファイルが見つからなかった場合、ASCET-MD、ASCET-RP、ASCET-SEはトライアルモードで起動します。この場合、ある一定の期間は通常どおりに操作を行えますが、ライセンスファイル検索が定期的に行われ、ファイルが見つからない場合はワーニングメッセージが表示されます。



その他のアドオン製品（INTECRIO-ASC など）にはトライアルモードはないので、ライセンスなしには操作を行えません。

ライセンスファイルがない状態で所定のトライアル期間が経過すると、ワーニングメッセージの代わりにエラーメッセージが表示され、ライセンスファイルが見つかるまでツールは使用できなくなります。



3.2 ライセンスの借用

サーバーライセンスを使用している場合、一時的にローカルライセンスが必要になった際に（ラップトップ PC で車上テストを行うような場合）、限られた期間だけサーバーからライセンスを「借用」することができます。サーバーに接続した状態で作業を行う場合は、ライセンスの借用は必要ありません。借用の方法については ETAS ライセンスマネージャのオンラインヘルプをご参照ください。

4 お問い合わせ先

製品に関するご質問等は、各地域の ETAS 支社までお問い合わせください。

ETAS 本社

ETAS GmbH

Borsigstrasse 14
70469 Stuttgart
Germany

Phone: +49 711 8 96 61-0
Fax: +49 711 8 96 61-105
E-mail: sales@etas.de
WWW: <http://www.etas.com/>

日本支社

イータス株式会社

〒 220-6217
神奈川県横浜市西区
みなとみらい 2-3-5
クイーンズタワー C 17F

Phone: (045) 222-0900
Fax: (045) 222-0956
E-mail: sales.jp@etas.com
WWW: <http://www.etas.com/>

その他の支社

上記以外の各国支社につきましては、ETAS ホームページをご覧ください。

各国支社 WWW: www.etas.com/ja/contact.php
技術サポート WWW: www.etas.com/ja/contact.php

索引

A

ASCET

- 機能範囲の指定 17
- アドオン製品のインストール 20
- 基本システムのインストール 13, 14
- バスの設定 15

インストール

- ASCET の ~ 開始 13, 14

い

インストール

- ASCET アドオンの ~ 20
- ASCET の機能範囲の指定 17
- 既存のバージョンに上書きする 22
- コマンドラインからの ~ 24
- コンフィギュレーションのカスタマイズ 27
- システム要件 9
- 修正済みユーザープロファイルの統合 30
- 修正済みデータベースの統合 30
- 中止 21
- ネットワークサーバからの ~ 26
- ネットワーク ~ 用データのカスタマイズ 29
- バスの設定 15
- ユーザー特権 (WinNT の場合) 10
- ユーザー特権 (WinVista の場合) 11

- ユーザー特権 (WinXP の場合) 10
- ライセンスファイル 39

と

- 問い合わせ先 45

ひ

表記

- 規則 6
- 操作手順 5

ら

- ライセンスファイル
インストール 39
- 取得 39

